

# ベルカント教育の歴史と方法論

18世紀から19世紀半ばに至る声楽教育と音楽院における歌唱メソッドの確立



『イタリアのソルフェージュ』初版タイトルページ(講師提供)

音楽・オペラ研究家で日本ロッシーニ協会会長の水谷彰良氏に、後期バロック期のイタリアで確立された教育法が、ソルフェッジ集『イタリアのソルフェージュ』(1772年／パリ)を経て、パリ音楽院でイタリア式メソッドとして体系化された経緯を明らかにしていただくとともに、現代の大学における声楽教育の再構築の可能性について論じていただきます。

日 時 2011年7月26日(火) 15:00～16:45  
会 場 昭和音楽大学 南校舎 第1会議室  
講 師 水谷彰良 音楽・オペラ研究家、日本ロッシーニ協会会長  
『オペラ劇場における人材育成システムに関する研究』プロジェクト研究員  
参加費 無 料 \*参加ご希望の方は、お名前とご所属先を下記にご連絡ください

水谷彰良 Akira MIZUTANI

1957年東京生まれ。音楽・オペラ研究家。フェリス女学院大学オープンカレッジ講師(1999年9月～継続中)、国立音楽大学非常勤講師(2004年4月～2010年3月の6年間)。「オペラ史」「作曲家・作品研究」「歌曲作品研究IV」「大学院・声楽作品研究」など、朝日カルチャーセンター(新宿)講師(2006年1月～継続中)、東急セミナーBEたまプラーザ講師(2010年10月～継続中)を務める。『ロッシーニアーナ』主幹。日本ロッシーニ協会会長。著書:『ロッシーニと料理』(透土社、1993年、新版2000年)、『プリマ・ドンナの歴史・I 黎明期のディーヴァたち』『プリマ・ドンナの歴史・II ベル・カントの黄昏』(東京書籍、1998年)、『消えたオペラ譜 楽譜出版にみるオペラ400年史』(音楽之友社、2003年)、『サリエーリ モーツアルトに消された宫廷楽長』(音楽之友社、2004年。第27回マルコ・ポーロ賞受賞)、『イタリア・オペラ史』(音楽之友社、2006年)。

共著:『オペラ・キャラクター解説事典』(音楽之友社、2000年)、『新編 音楽中辞典』(音楽之友社、2002年)、『新編 音楽小辞典』(音楽之友社、2004年)、『魅惑のオペラ』(全30巻。小学館、2007～2010年)、『国立音楽大学付属図書館 貴重書解題目録』(国立音楽大学、2007年)、『ジェンダー史叢書・第4巻 視覚表象と音楽』(明石書店、2010年)、『CDでわかる オペラの名曲&名場面集』(ナツメ社、2011年)ほか多数。楽譜編纂:『パエールとロッシーニの声楽教本』(全音楽譜出版社、2001年)。